

国際的な活躍が期待できる研究者の育成事業
(2019年度大阪市立大学大学院文学研究科プロジェクトと共催)

周縁的社会集団と近代一日本と欧米におけるアジア史研究の架橋
第21回セミナー (2019年度第6回)

今回のセミナーでは、本事業若手研究者の上野雅由樹氏と、東京外国語大学大学院の岩田和馬氏に、オスマン帝国期イスタンブルの都市社会について報告をしていただきます。

上野氏は、19世紀に市域が拡大するとともに、都市改革が進められるなかで行われた墓地の接收過程に注目することで、多宗教社会としてのイスタンブルを論じます。岩田氏は、イスタンブルにおいて未熟練労働者が宿泊をしていた宿所の所有と管理のあり方を、同業組合との関係を踏まえながら分析します。

東地中海史・都市社会史に関心のある皆さまのご参加をお待ちしております。



写真上：Büyük Han Kibris (現代、キプロス島の隊商宿、岩田和馬氏提供)

写真右：surp_agop_mezarligi_asil (20世紀前半、イスタンブルの墓地写真、上野氏提供、Agos新聞、<http://www.agos.com.tr/tr/yazi/2794/gezi-parkinin-yani-basindaki-ermeni-mezarligi>)



日時 2019年12月6日(金) 15:00~18:30ごろ

会場 大阪市立大学経済学部棟 2F 第4会議室

内容 上野雅由樹氏(大阪市立大学・担当研究者)

「19世紀イスタンブルの都市改革と墓地接收」

岩田和馬氏(東京外国語大学大学院)

「18世紀オスマン朝イスタンブルにおける宿所の社会関係」

※今回は、2019年度大阪市立大学大学院文学研究科プロジェクト「東地中海世界の歴史的展開を、古代から現代に至るまで通時的に再検討する」(代表：北村昌史)との共催です。

連絡・問い合わせ先

国際的な活躍が期待できる研究者の育成事業「周縁的社会集団と近代」事務局
佐賀 朝(文学研究科教授) E-mail: CYI03126@nifty.ne.jp